

第1回

北九州市部活の未来を考える会



令和5年5月17日（水）

北九州市教育委員会

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月6日）の概要



※公立中学校等（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部）における運動部活動を対象

スポーツ庁

運動部活動の
意義と課題

意義

- 生徒のスポーツに親しむ機会を確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。
- 人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制。信頼感・一体感の醸成。

課題

- 近年、特に**持続可能性**という面で厳しさを増しており、中学校生徒数の減少が加速化するなど**深刻な少子化が進行**。〈生徒数：昭和61年589万人→令和3年296万人に半減、出生数：令和2年84万人〉
- 競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた運動部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担**。〈土日の部活動指導：平成18年度1時間6分→平成28年度2時間9分に倍増〉
- 地域では、**スポーツ団体や指導者等と学校との連携・協働が十分ではない**。

これまでの
対応

- 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（平成30年3月）：学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について（令和2年9月）：令和5年度以降、**休日の部活動の段階的な地域移行**を図る
- 中教審や国会等：「部活動を学校単位から**地域単位の取組**とする」旨指摘

目指す
姿勢

- 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。このことは、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- スポーツは、**自発的な参画**を通して「楽しさ」「喜び」を感じることに本質。自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保**。（スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供）

改革の
方向性

- まずは、**休日の運動部活動から段階的に地域移行**していくことを基本とする
- 目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末**を目途
（合意形成や条件整備等のため更に時間を要する場合にも、地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す）
- 平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた**休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進**
- 地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組む
- 地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進

※改革を推進するための「選択肢」を示し、「複数の道筋」があることや、「多様な方法」があることを強く意識



北九州市部活動の地域移行検討会議 「北九州市部活の未来を考える会」開催要綱

(目的)

第1条

児童生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を将来にわたって確保することを目的とし、学校部活動から地域クラブ活動への移行に向けて、有識者等から幅広く意見を聴取するため、北九州市部活動の地域移行検討会議（以下「検討会議」という。）を開催する。

第2条

有識者会議の構成員は、次に掲げる事項について意見を述べる。

- (1) 部活動の地域移行に関する事
- (2) 部活動の地域移行を実施する上での課題とその解決策等に関する事
- (3) その他、部活動の地域移行等に関して教育長が必要と認めた事

本市の取組

- 1 部活動地域移行モデル実践
- 2 部活動地域移行に係る職員研修
- 3 部活動地域移行に係るオンラインイベント
「これからの部活動の話をしよう！」

部活動地域移行モデル実施

1 目的

生徒にとって適切なスポーツ環境の確保や、教員の働き方改革の視点から、部活動改革を進めるため、休日（土日祝）の学校部活動を地域部活動として実施できる環境を整えることを目的に実施。

2 実施概要

モデル校（種目）	委託先	指導員
菊陵中（野球部）	北九州スポーツクラブ A C E	4人
篠崎中（陸上部）		5人
白銀中（バスケットボール部）		4人
穴生中（バレーボール部）		5人
高見中（卓球部）	北九州市卓球協会	2人

3 成果及び課題（生徒及び保護者、顧問、管理職へのアンケートより）

○ 生徒・保護者

- ・ ものすごく練習が楽しみになった。
- ・ 専門の方のご指導はとても勉強になり、技術面はもちろんのことですが精神面も前向きになったようでとてもよかったです。
- ・ コーチの姿勢を見る事によって卓球を上手になりたいと思うようになり家に帰っても部活の話がたくさんしてくれた。
- ・ 欠席連絡など、個人情報関係でスムーズに連絡ができない。

○ 顧問・管理職

- ・ 家族事や自分の趣味・趣向に時間をあてることができた。
- ・ 土日の教員のワークライフバランスの推進につながる。
- ・ 「顧問がいない場合は廃部せざるを得ない」等の毎年起こる課題を部活動地域移行によって改善できると思われる。
- ・ 中体連主催の大会では運営として参加する必要がある。
- ・ 連絡体制や施設管理の計画が大変だった。
- ・ 今後、休日のみならず、平日（週1回だけでも）の運営にも広げてほしい。

部活動地域移行に係る職員研修について

1 日時

令和5年2月22日（水）～令和5年3月23日（木）

2 対象

全教職員

3 内容

(1) 説明

「国の示す部活動地域移行について」

(2) 協議

- 部活動地域移行に思うこと
- 教員の将来的な部活動への関わり方 等

○部活動地域移行に思うこと

【賛成意見】

- ・ 業務改善として非常に有効である。完全な移行を希望したい。
- ・ 本来の仕事である教科教育に力を注ぐことができる。
- ・ 専門的な指導が受けられるため、子どもたちにとって非常にプラスである。

【反対意見】

- ・ 生徒指導事案への対応がおろそかにならないかが心配である。
- ・ 教員にしわ寄せがくるのではないかと懸念している。
- ・ 教育的な面での指導も継続できるようなシステムを構築してほしい。

○教員の将来的な部活動への関わり方

【顧問は関わらない体制】

- ・ 顧問を望まない教員に強制しないことで、負担は減り、働き方はずいぶん変わると思う。
- ・ 強制ではなくなれば、教員になりたい人が増えるのではないか。
- ・ 本来の業務を遂行することができる勤務時間を確保することが大切だと思う。
- ・ 部活動が教員の負担になることはあってはならない。

【兼職兼業】

- ・ 部活動の指導をしたいという思いで教員を目指す者もまだ一定数はいると思う。
- ・ 手当がしっかり出るのであれば、副業として部活動（指導員）をやりたい人は出てくる。

部活動地域移行に係るオンラインイベント 「これからの部活動の話をしよう！」

1 日時

- 3月1日（水）16時～17時

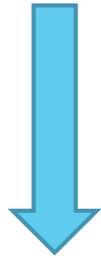
2 対象

- 14校、計140名の生徒が参加
- 運動・文化部所属者、無所属者、外部クラブチーム等所属者、生徒会執行部 等

3 内容

- ① 部活動の地域移行に係る説明（10分）
 - ・ 地域移行とは何か
 - ・ なぜ地域移行なのか
- ② グループ協議（20分）
 - ・ 現在の部活動の課題・困っていること
 - ・ 地域に移行されたらこんな姿になったらいいな
- ③ 各学校より発表（20分）
- ④ 意見交換（10分）

令和5年度スケジュール（案）

5月17日	<p>第1回会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未来を考える会の目的 ○本市の取組 ○令和5年度スケジュール（案） ○座長、副座長、要綱の確認 ○議 事 ・ アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回会議内容の事前協議 「少子化時代における部活動存続のための対応」 	
6月下旬	<p>第2回会議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○議 事 ・ 少子化時代における部活動存続のための対応 ・ 第3回会議内容の事前協議「休日の部活動の在り方」 	<p>スポーツ部会 カルチャー部会</p>
7月下旬	<p>第3回会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケート調査の報告 ○議 事 ・ 休日の部活動の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回会議内容の事前協議「指導者の確保」 	
8月下旬	<p>第4回会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○議 事 ・ 指導者の確保 	
10月下旬	<p>第5回会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○議 事 ・ 第一次提言（案） <ul style="list-style-type: none"> ★少子化時代における部活動存続のための対応 ★休日部活動の在り方 ★指導者の確保 	
11月中旬	<p>第6回会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○議 事 ・ 第一次提言 	